

「春」を感じる日が続いています。今年は、いろんな花が一齐に咲き得た気分です♪お弁当を持ってどこかに出かけたくくなりました。まずは、もうすぐシーズンを迎えるタケノコ掘りにでも行きたいと思います♪♪

2月 定例会を兼ねた長崎セミナーがありました

私は、B分科会「特別支援学校での性教育の試み」と午後の講演会に参加してきました。

分科会

「からだの学習」が学校全体の取り組みになるように職員へ働きかけるパワーは「すごい！」の一言。その時その時に必要な内容を取り上げ、一人一人にあった学習ができるように心掛けているということでした。資料の紹介もありましたが、絵本から手作り教材まで、その豊富さに驚かされました。

～人とかがわる際のヒントになるようなお話がありました～

- ・できないことや失敗したことを言っても本人はわからないことがある。
→「どこにひっかかっているのか？」丁寧に聞いたり観察したりすることでみえてくる。
- ・大人が伝えたいこと、伝えたことは受け取った子どもの様子を見れば伝わったかどうか分かる。本人に伝わっていなければ自分の伝え方が悪かったかもしれない。
→ 一方通行ではないやりとりが大切

「教育とは、待つこと、育てること、損なわないこと」古川先生の恩師が言われた言葉だそうです。心にとめておきたい言葉だと思い、紹介させていただきました。



<研究協議> 男の子のマスターベーションの質問に対して、分科会に参加して下さっていた任海先生がわかりやすく教えてくださいました。

- ・「自分一人です」「人がいるところではしない」「人に手伝わせない」ということを自慰の時の約束として教えることが大切。そのような話が難しい子に対しては、今始めてもらっては困るという時は最初から手がいかないような配慮が必要。始まってしまった時は、その子の尊厳が守れるような配慮をする。また「ダメ」や「汚い」という言葉を使わないことも大切。

<講演会> 「障がい児・者の性と生 — ライフサイクルに応じた性教育 — 」任海園子さん

「いいですか?」「いいですよ」

- 大人になったらストレートなスキンシップではなく、人との関わりには「間」が大切だということを教えていく。「～いいですか?」「いいですよ」のやりとりができるように。

問題行動 ○ 行動をやめさせるよりも、生活の中で一生懸命できることを見つけるという間にか減る。

自立の力 ○ 一人でできることだけが自立ではない。「お願いします」「ありがとう」の気持ちが伝えられることも自立。

これまでの豊富な実践の中から事例をたくさん話してくださり、あっという間に時間が過ぎていきました。もっとお話を聞きたいと思ったほどでした。

分科会、講演会を通してたくさん学んだ一日でした。そして、もっともっといろいろな方のお話を聞いて学びたい!と思った日でもありました。これからも、皆さんからいろいろなお話を聞いて勉強していきたいと思っています。 *次回の定例会は5月19日(土)の予定です。「おしゃべり会」を計画中。取り上げたい話題

などがありましたら宮原先生までご連絡ください。 連絡先 spring@nagasaki-u.ac.jp

よろしくお願いします。

